

## 変化発展する武漢の越境 E C（電子商取引）事情

大分市武漢事務所 全淑麗

今回は武漢市の最新越境EC情報についてお話しします。今年上期、武漢市では新型コロナウイルスを封じ込めるために、前例のない都市封鎖が行われました。全ての市民の外出禁止など、今まで経験したこともない状況でした。当然、店頭販売や貿易は相当の打撃を受けました。その一方で、オンライン取引による取扱高は大きな成長を見せました。特に、低成長に入った国内商品の専門ECサイトに比べて、越境 E C 市場には大きな伸びしろがあることが分かりました。取扱額の増加だけでなく、低リスクと高い利益率でECのプラットフォームは消費者だけでなく、企業からも注目を集めています。

武漢市の越境 E C 総合試験エリアは、2018年7月に中国国务院の許可を得て、2019年1月から正式に始動しました。僅か1か月間で、東湖総合保税区の越境 E C 取引額はすでに前年度を上回り、武漢の越境 E C 産業の潜在需要が明らかになりました。武漢市政府は越境 E C 運営企業と関連企業を支援する優遇政策を公表しました。東湖新技術開発区、漢口北市場、武漢新港総合保税区と天河空港の4つの保税区において越境 E C 総合試験区を整備しました。さらに越境 E C 大手企業の支援や越境 E C 産業パークの整備、越境 E C 専門従事者の育成、保税輸入業務、越境 E C 小売業への支援などが盛り込まれています。また、天河空港で国際直行路線を開通し、国際貨物の集配機能の集積や越境 E C の商品配送能力の向上も重点施策となっています。

また、武漢と国際市場との結びつきは日々深まっています。武漢市統計局のデータによると、2019年の武漢市の輸出相手国は205か国・地域へと広がりを見せていますが、このうち、越境 E C 関連企業は1500社以上、越境 E C 貿易総額は9.4億元に達しています。武漢市はすでに中国の越境 E C 産業の中部産業拠点となっており、数多くの越境 E C 企業が武漢に立地しています。

2009年創立した「弗睿電商(ふつえいでんしょう)」は、昨年から第二本部を武漢に開設しました。従業員も昨年の300人から500人に増え、毎年30%~50%の伸び率で急成長し、今後3年で1000人以上の雇用を増やす予定です。武漢には多くの大学があり人材も豊富です。越境 E C 企業各社も専門人材の需要が大きいことから、武漢は企業にとっては非常に魅力的です。

新型コロナウイルスの流行初期に抗ウイルス商品の価格が高騰しました。その後の外出禁止令により、在宅勤務が日常となり、電子商取引では電子機器、厨房用品、運動用品、玩具などの販売額も増加しました。武漢が真っ先にコロナ禍を経験したことにより、武漢の商売人も越境ECを通じた仕入れが利益を生むことをいち早く、それも身をもって体験しました。同時にこの経験は、その後の世界的なコロナ禍により、越境ECによる輸出拡大にもつながることになりました。今年4月から8月の間、武漢天河国際空港で、越境 E C 輸出入貨物の取扱量は160万件以上、うちに輸出貨物は80%超え、前年度を大きく上回りました。

武漢卓爾智聯傘下の越境 E C 企業「蘭亭集勢」(LightInTheBox)は、「唯品会」と「歡聚時代」に続く武漢卓爾智聯第三個目のプラットフォームです。2013年6月にアメリカで IPO (株式公開) を実現した越境 E C 企業です。2020年第二四半期の決算報告では、売上総額1.14億ドル、昨年同期と比95.9%の上昇となり、上場以来の四半期単位の売上としては最高額となりました。

また、2020年7月、湖北省政府は「武漢税関の湖北開放型経済の高品質発展に資する支援に関する連携施策」を公表し、総合保税区、保税物流センター（B型）における越境EC電商企業の「ネットショッピングの保税販売」及び「輸入商品の購入直通」業務の展開を支持する態度は明らかになりました。企業対企業のBtoBと比べると、企業対個人消費者のBtoCの小売方式が一般消費者にとってもっと便利です。

鄂旅投資グループの傘下企業、武漢金宇総合保税発展有限公司運営の「越境ショッピング品源生活広場」は、国慶節前に東湖保税区でオープンしました。商品は全部海外輸入品で、主に美容、ベビー&マタニティ、健康食品、お酒、小型電化製品の5種類です。消費者はその場で購入し、その場で商品を引取ることができます。BtoCで流通ルートを短縮し、仲介商にかかるコストを押さえたビジネスモデルで繁盛しています。「越境ショッピング品源生活広場」で商品を購入する際、中国の越境ECの優遇政策により、個人年間消費額の制限枠内であれば、免税で商品を購入することができます。商品は全部海外から直接仕入れたもので、商品はすでに税関システムで登録され、保税管理中の状態となっています。消費者は身分証明書を提出してレジ台で支払った後、受け取りカウンターで受取、消費者と越境EC商品がゼロ距離のショッピングを実現しました。

「越境ショッピング品源生活広場」で商品を購入する際の手順は下記の流れとなります。

- 1、氏名、身分証明証番号、携帯番号でプラットフォームアプリをダウンロードし会員登録を行う。
- 2、商品をセルフレジ台に持っていき、バーコードをセンサーにかざし、自動印字される注文票をもとに代金を支払う。
- 3、運営業者は注文票、精算票、物流票のデータを税関連通システム上で、オンラインで税関申告する。
- 4、税関審査結果はオンタイムで消費者へフィードバックされる。
- 5、消費者は受取カウンターで商品を引取る。また、注文した商品が税関の無作為抽出検査に該当した場合は、運営業者側から商品を検査後宅急便で消費者の指定地まで配送。

海外直輸入商品の店頭直接販売方式は、湖北省内では今まで空白でしたが、越境ECの新たな発展方向です。税関の特別保税管理区域において、越境ショッピング品源生活広場プロジェクトが、越境EC OtoO (Online to Offline) 販売業務を展開できたことは、湖北省で初の越境EC「フロント店舗・バックヤード一体展開+宅配」はこれからの越境ECの新業態になる予感です。

少々、手前味噌気味のお知らせとなりますが、当事務所スタッフが所属している武漢市国際交流サービスセンターは、国際往来のサポートを生業としていますが、コロナ禍により往来が遮断され、創業以来の経営危機に陥りました。4月の活動再開後に、現下の窮状を克服するために子会社「武漢友好越境電子取引商物流有限公司」を立ち上げました。武漢新港を拠点に、越境EC、倉庫、物流、サプライチェーンなどに関する金融業務を展開しています。7月に武漢新港では初の冷凍輸入肉の入庫を取扱いました。現在は各国のビューティーケア商品、ベビー&マタニティ商品、健康食品を取り扱っています。本年度の取扱高の目標額を5億元に設定し、11月から越境EC商品の販売アプリの運営がスタートしました。越境ECやビジネスマッチングに関するお問い合わせを歓迎します。

PRとなっただけでしたが、足元では依然、新型コロナウイルスや貿易摩擦のリスクにさらされています。一方では、デジタル化やビッグデータによって生産性が向上し、経済力が対前年比較でプラス成長に復元しました。中国スタイルの越境ECは、また新たな領域に歩を進めているようです。



東湖保稅區入口



越境EC商品體驗展示區



ライブ配信中



會計待ちの人々

※写真は武漢事務所スタッフ撮影